

坂本重己：日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 准教授
学位：修士（人間科学）（就任：平成 21 年 4 月）

○教育担当科目

基礎ゼミ、医用工学実験、医用工学演習、安全管理論、放射線ケアマネジメント論、画像機器工学実験、放射線安全管理学実験、画像検査学技術学実習Ⅱ（臨床実習）、核医学検査技術学実習Ⅱ（臨床実習）、放射線治療学実習（臨床実習）、卒業研究

○研究業績

I. 著書：

1. 新医用放射線技術実験 基礎編（共著）：共立出版株式会社，坂本重己；92-93，（編集 田中 仁，斎藤 勲，山本千秋，山田勝彦），2005.
2. 放射線医療用語辞典（共著）：医用放射線辞典編集委員会編，共立出版株式会社，坂本重己他 48 名共同執筆（編集 花谷 亮），2007.
3. 『放射線業務の安全の質管理指針』と『放射線業務の安全の質管理マニュアル(ver. 1)』（共著）：坂本重己他 18 名（編集 天内 廣），2007.

II. 学術論文

①論文

1. 米沢 健，高垣和幸，北山則光，坂本重己，新藤博明：CT 装置における画像診断（肝臓の疾患）. 日本放射線技術学会誌，第 61 巻，第 7 号；1014-1019，2005.
2. 坂本重己：診療放射線技師養成校における医療安全教育の導入（日本大学博士前期課程論文），日本大学大学院総合社会情報研究科論文誌；1-47，2008.
3. 坂本重己，本間純一：散乱 X 線除去用グリッドに関する検討. 城西医療技術専門学校研究紀要，vol. 1，No. 2；18-21，2007.
4. 坂本重己，北山則光：城西医療技術専門学校研究紀要，vol. 1，No. 2；22-24，2007.
5. 坂本重己，望月安雄，市川真澄，新藤博明：Modulation Transfer Function の Fitting curve と Parameter 表示について，日本医療科学大学研究紀要，第 1 巻，第 1 号；19-24，2008.
6. 坂本重己，望月安雄，市川真澄，新藤博明：X 線画像の鮮鋭度は MTF で評価されているか，日本医療科学大学研究紀要，第 1 巻，第 1 号；31-36，2008.
7. 佐藤幹也，小野祐嗣，中谷儀一郎，坂本重己：臨床現場におけるコミュニケーション能力の必要性. 埼玉放射線学会，vol. 52，No. 4；252-254，2004.
8. 柴 俊幸，長井真央，坂本重己：血管造影検査における術者被曝について. 埼玉放射線，vol. 53，No. 3；215-216，2005.
9. 島田 舞，鈴木 充，丸山奈美，岸 温史，須永昌太，小山貴士，坂本重己：カテーテルアブレーション. 埼玉放射線学会，vol. 53，No. 4；252-254，2006.
10. 島田 舞，鈴木 充，丸山奈美，岸 温史，須永昌太，小山貴士，坂本重己：CT 装置の被曝線量軽減ソフト. 埼玉放射線学会，vol. 53，No. 4；255-257，2006.

②その他の論文

1. 丸山 健，小山雅弘，市川真澄，坂本重己：臨床実習における患者接遇について. 埼玉放射線学会，vol. 56，No. 3；18，2008.

2. 佐々木一仁, 市川真澄, 坂本重己: 消化管についての考察. 埼玉放射線学会, vol. 56, No. 3 ; 18, 2006.
3. 川上幸宏, 相子真介, 阿倍博和, 本間淳一, 岡下 浩, 坂本重己, 中谷儀一郎: オーダリングシステムについての考察. 埼玉放射線学会, vol. 56, No. 3 ; 18, 2008.
4. 中城滋愛, 岡部佑耶, 杉田亜佐実, 野口 誠, 深沢ちはる, 森田彩郁, 居鶴雄大, 小坂英介, 岡本 浩, 坂本重己, 新藤博明: CTガイド下におけるTAEについて. 埼玉放射線学会, vol. 56, No. 3 ; 32, 2008.
5. 八木里枝子, 旭 拓也, 菊池秀平, 平山明日香, 坂本重己, 本間淳一, 北山則光, 中谷儀一郎: CT装置とCT画像について「肝臓三相検査中心に」. 埼玉放射線学会, vol. 56, No. 3 ; 37, 2008.
6. 坂本重己: 人としての資質, チーム医療の担い手としての教育を考える. KONICA MINOKTA MEDICALNETWORK 特別企画 未来型医療の基盤をなす地域医療ネットワーク; 52-55, 2008.
7. 渋井二三男, 鳥谷尾秀行, 坂本重己: ユキピタスコンピューティングと診療放射線技師養成のための e-learning system. 社団法人日本マネジメントスクール経営教育. No. 167 ; 75-79, 2006.
8. 坂本重己, 北山則光, 本間純一, 新藤博明, 渋井二三男: 診療放射線技師養成校におけるリスクマネジメント教育の現状と取り組み. 社団法人日本リスクマネジメントスクール経営教育. No. 169 ; 77-78, 2007.
9. 坂本重己, 渋井二三男: 医療系養成校における臨床実習とリスクマネジメント. 日総研看護教育 ; 158-163, 2007.

IV. 学会および研究発表

【国際学会】

②一般演題などの発表

1. Fumio Sibui, Hiromitsu Kobayashi, Hideyuki Toriyao, Shigemi Sakamoto: Development and evaluation the distance learning visualization (movie) simple simulation system for Radiologic Technologist. Distance Learning and the Internet Conference, Hosted by Waseda University, November, 2008.

【国内発表】

②一般演題などの発表

1. 佐藤幹也, 小野祐嗣, 坂本重己, 中谷儀一郎: 臨床現場におけるコミュニケーション能力の必要性. 第20回埼玉放射線学会学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2004.
2. 柴 俊幸, 長井真央, 坂本重己: 血管造影検査における術者被曝について. 第21回埼玉放射線学会学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2005.
3. 島田 舞, 鈴木 充, 丸山奈美, 岸 温史, 須永昌太, 小山高士, 坂本重己: カテーテルアブレーション. 第21回埼玉放射線学会学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2006.
4. 豊泉 航, 甲斐庸介, 坂本重己, 中谷喜一郎: CT装置の被爆軽減ソフト. 第21回埼玉放射線学会学術大会. 於埼玉県民活動センター, 2006.
5. 鳥谷尾秀幸, 坂本重己, 辻 達之, 渋井二三男: 数理物理を視点とした放射線医療技術教育支援 e-learning システムの開発と評価. 日本放射線技術学会第62回総合学術大会, 2006.

6. 渋井二三男, 坂本重己, 北山則光, 鳥谷尾秀幸, 辻 達之: 診療放射線技師養成のための e-learning 学習システムの開発と評価教育. システム情報学会第 31 回全国大会, 2006.
7. 坂本重己, 鳥谷尾秀幸, 辻 達之, 渋井二三男: 水治療法士に向けた e-learning 学習システムの開発と評価. 情報文化学会, 2006.
8. 坂本重己, 新藤博明, 渋井二三男, 佐藤幸光: 診療放射線技師養成校における安全教育の導入について. 第 35 回日本放射線技術学会秋季大会, 名古屋国際会場, 2007.
9. 丸山 健, 小山雅弘, 市川真澄, 坂本重己: 臨床における患者接遇について. 第 22 回埼玉放射線学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2008.
10. 佐々木一仁, 市川真澄, 坂本重己: 消化管検査についての考察. 第 22 回埼玉放射線学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2008.
11. 川上幸宏, 相子真介, 阿部博和, 本間淳一, 岡本 浩, 坂本重己, 中谷儀一郎: オーダリングシステムについての考察. 第 22 回埼玉放射線学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2008.
12. 八木里枝子, 旭 拓也, 菊池秀平, 平山明日香, 坂本重己, 本間淳一, 北山則光, 中谷儀一郎: CT 装置と CT 画像について. 第 22 回埼玉放射線学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2008.
13. 米沢 健, 高垣和幸, 北山則光, 坂本重己, 新藤博明: CT 装置における画像診断 (肝臓の疾患). 第 22 回埼玉放射線学術大会, 於埼玉県民活動センター, 2008.
14. 坂本重己, 安富蔵人, 新藤博明, 渋井二三男, 佐藤幸光, 伊勢谷修, 渋市直紀: 臨床実習 (核医学・放射線治療学) における安全教育の取り組み. 第 36 回日本放射線技術学会秋季大会, 軽井沢, 2008.

△日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 就任後の国内発表

1. 坂本重己, 佐藤幸光, 新藤博明, 渋井二三男: E-learning による医療安全教育への取り組み. 第 37 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 岡山, 2009.
2. 安富蔵人, 小林隆幸, 本田 真, 坂本重己, 白沢盛夫, 矢内原久, 上村しづ香: 骨塩定量測定装置を用いた測定条件による BMD 値の評価検討. 第 37 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 岡山, 2009.
3. 鳥谷尾秀行, 坂本重己, 渋井二三男: 健康増進による WBT 利用での水中療養の提案・開発と評価. 情報文化学会, 2009.

V. 学術関連広報活動

②その他

【委員歴】

1. 診療放射線学科長; 2002. 4~2009. 3 (城西医療放射線専門学校).
2. 図書委員会委員長; 2009. 4~現在 (日本医療科学大学).

VI. 現在研究中のテーマ

1. 可視化による医療安全教育研究
2. e-learning による教育法の開発に関する研究
3. 高齢者機能低下予防水中運動療法に関する研究